

地域 × かぎん



2005年5月1日に伊集院町、東市来町、日吉町、吹上町の4町が合併して誕生した日置市。南九州西回り自動車道やJR鹿児島本線で鹿児島市と結ばれ、好アクセスであるとともに、日本三大砂丘の一つである白砂青松の吹上浜と東シナ海に面し、自然と利便性の調和のとれた地域。あまり知られていないが、優れた泉質の温泉があるのも魅力。

日置 × かぎん 「オリーブ」を新たな特産品に!



鹿児島銀行は、第5次経営戦略計画で「地域マーケットの創造」を基本戦略の一つに掲げています。地域に対して徹底的に関わりをもち、地域経済を支援していくという方針です。本方針に基づき、平成24年5月に日置市と包括的業務協力協定を締結し、新産業創出の一環として、オリーブを活用した産業興しをスタートさせました。

平成25年10月には、オリーブ事業調査のため、行員2名をイタリアとスペインへ約2ヶ月間派遣し、収穫から加工まで体験してまいりました。

将来的には、オリーブオイルや美容品等に商品化し、日置市の新たな特産品にしたいと考えております。



オリーブオイル鑑定士コース受講修了
(右:当行行員)

- オリーブ推進係の設置
- オリーブ植樹5,000本
- 農家への栽培方法指導
- 市民向けオリーブオイルセミナー

日置市

鹿児島
銀行

- 海外オリーブ事業調査
- 事業スキームの確立
- 加工販売業者の誘致
- 「日置オリーブ」のブランド構築

雇用創出・交流人口増加・地場産業育成

日置市

- 農家に対するオリーブ栽培の指導、植樹活動の推進。
- 市民向けオリーブオイルセミナーや料理教室の開催等によるオリーブの周知。
- 地元の農産物、水産物などを活用したオリーブオイルメニューの開発。

当 行

- 日置市におけるオリーブ事業戦略の立案。
- 加工販売の事業スキーム構築および企業誘致。
- オリーブ観光事業スキームの構築。



日置の湯めぐり窯めぐり



火山の無い日置になぜ温泉が?



鹿児島県は2,800もの源泉数を誇り、大分県に次いで全国第2位。県内では霧島や指宿といった温泉地が有名ですが、実は日置にも優れた泉質の温泉が数多くあります。桜島や霧島山、そして開聞岳といった活火山から遠いにも関わらず温泉が豊富に湧出するのは、地下の比較的新しい時代に活動した断層の割れ目に沿って湧出しているからです。これが「非火山性温泉」であり、日置の温泉の特徴と言えます。遠出はできないけれどリフレッシュしたい時、少し足をのばして日置に出かけてみませんか。



「白薩摩」「黒薩摩」 人々を魅了するそれぞれの魅力



薩摩焼は、いちき串木野市(島平)に上陸した朴平意が串木野窯を築窯し、その後下伊集院村大字苗代川(現在の日置市美山)に移住して築窯したことに始まります。それから約400年。薩摩焼は国内はもとより世界でも多くの人々を魅了してきました。

●格調高い「白薩摩」

かつては全て藩主の手に収められ、一般の人々の目に触れることがなかった。玉のような肌に錦手や精巧な透かし彫が施され、芸術の域を極めるものが多く、海外からも高く評価されている。



●風格ある「黒薩摩」

大衆用の日用雑器として焼かれていた陶器。鉄分含有量が多い土を用いるため黒くなる。野趣あふれ重厚な面持ちが特色で、黒薩摩のファンも多い。

